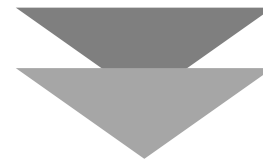


第10回
中小企業活性化会議
議題

平成29年7月19日
仙台市経済局

前回会議での議論

- 中核企業の定義にこだわり過ぎないように
(規模、取引の地域性など)
- 企業ステージに応じた成長支援が必要

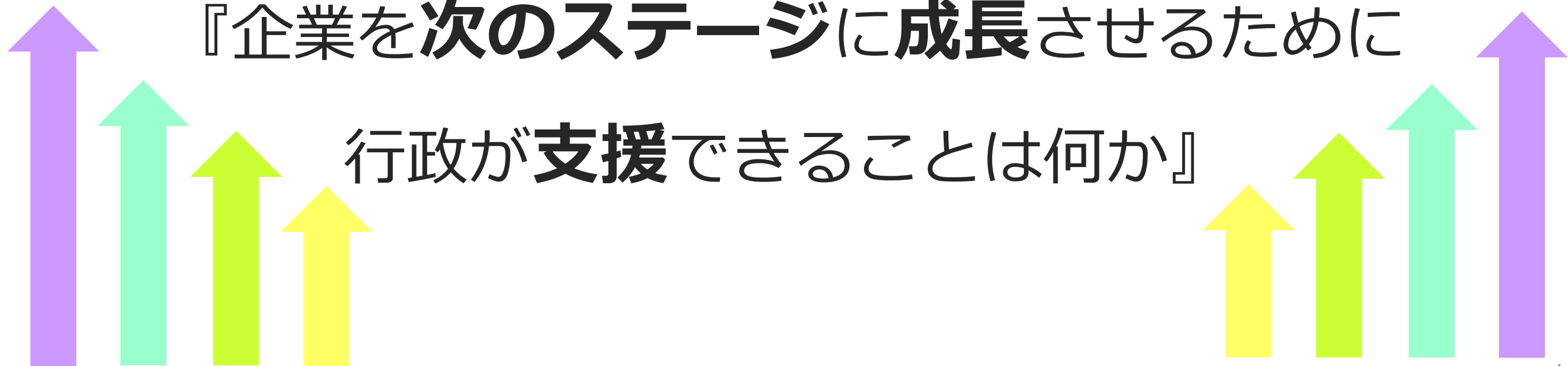


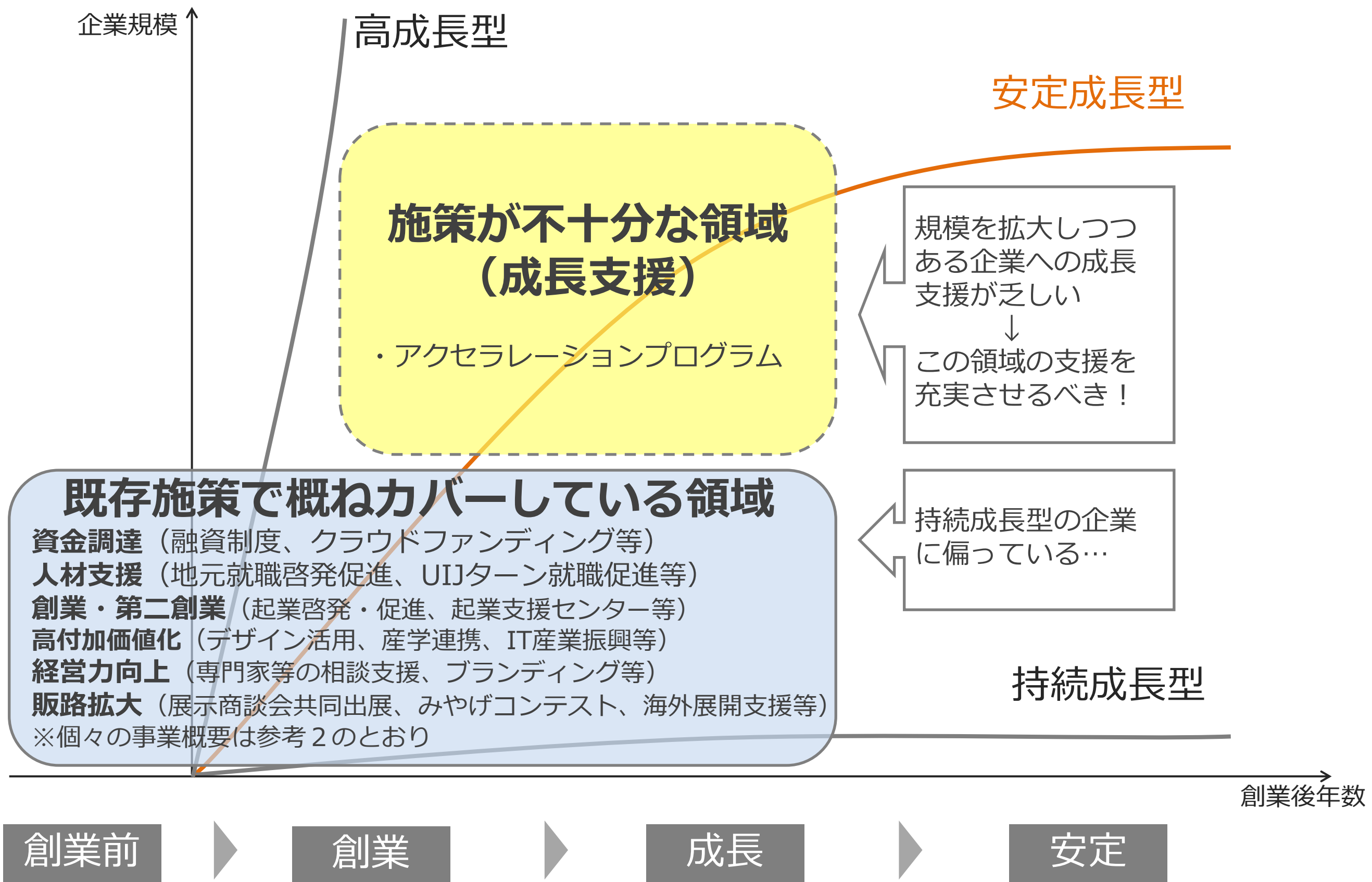
テーマ

～地域に波及効果を生む企業の創出に向けて～

『企業を次のステージに成長させるために

行政が支援できることは何か』





- 近年の本市経済施策は、リーマンショックや震災により打撃を受けた地域経済を立て直すことに注力
- 特に、震災後売上が減少した企業の販路開拓支援や、社会的起業家の支援など、比較的小規模な事業者を対象に支援
- その結果、震災前と比較して新規開業件数は増加したものの、地域経済への影響は大きかったとは言い難い
- 復興需要の収束や人口減少等を見据え、今後、地域経済の持続的発展には、地域に対してより高い波及効果を生み出す企業の創出が必要
- そのためには、これまで不十分であった、企業規模の更なる拡大を含めた成長支援策が必要

資金調達

- ・ 融資を受けにくい新規事業・第二創業の取組に対する資金調達支援が不十分

人材

- ・ スキルの高い右腕人材の確保に特化した施策は行っていない
- ・ 中小企業と学生との交流の場が少ない

新事業創出・販路開拓

- ・ 企業間の協業・連携の場づくりが不十分
- ・ 海外企業とのマッチングは図っているものの、その後の事業展開支援が不十分
- ・ 複数社連携によるパッケージで海外展開を図るなど、スケールアップを狙える機会が少ない

支援体制

- ・ 成長志向のある企業に対して伴走的な支援を行える体制になっていない

1. 本会議にて今年度議論するテーマを決定

事務局案・・・

『企業を次のステージに成長させるために行政が支援できることは何か』

2. 今後取り組むべき課題を明確化

(課題については、今後ワークショップにて議論し、次年度施策につなげる)

そのために本日意見交換したいこと・・・

①企業の成長における課題とは

(資金調達、人材、販路開拓、etc…)

②その課題をどう乗り越えたか

③課題を乗り越える上であると良かった支援とは